高原山が好きなんだ。

山の駅たかはら

山の駅たかはらが、ここ学校平で果たしている役割は決して派手ではない。お客さまをもてなし、無事に帰っていただく。例えばそれは、情報の提供から、食事・軽食、思い出となるおみやげの販売など…。山の駅たかはらは、山と人を守っている。

「山の駅たかはら」駅長
和氣秀明さん

高原山にいらっしゃるのは、中高年の方々が多いのですが、最近では、若い人の姿も多くみられるようになってきたことがうれしいですね。

私たちがまず考えることは、山に来てよかったと思っていただくこと。その思い出作りの手助けをすることが使命であると考えています。

天候やお勧め時期など、さまざまな情報発信や、安全の啓発、各種ハイキング企画などを積極的に行っていきたいですね。また、ハイキングや登山の途中に雨に見舞われた方、怪我をされた方などへの対処なども必要ですし、動物や昆虫のトラブルに巻き込まれることもあるでしょう。そんな時には、ここに寄って休んでいただいてから帰って頂ければと思います。精一杯山の思い出づくりのお手伝いをさせていただきたいと思っています。

最後に、一度来ていただいた方が、また元気に遊びに来てくれたら、こんなにうれしいことはありません。高原山には四季折々の魅力があふれています。どうぞ皆さんのお越しをお待ちしています。

[電話] 0287(43)1515
[営業時間] 4～11月/ 9:00～16:00、
12～ 3月/10:00～15:00
※12月～3月は金･土･日･祝日のみの営業
[休業日] 12/29～1/3

ラーメン(650円)**と半アップルカレー**(350円)

最近人気が出てきたラーメンは、醤油だしに中太ちぢれ麺で懐かしい中華そばの味。もちもちした麺が美味しい。やいたブランドでもあるアップルカレーは揚げ野菜が乗っていて、飽きさせない。普通サイズもある。

天ざる手打ちそば
(900円)

料理長が毎日手打ちをしているそばと、昆布、カツオなどから作られているだしが織りなす滋味が人気メニューであるヒミツ。また、旬の野菜を6品ほど使ったてんぷらも揚げ立てを楽しめる。

皆さんにも好きになってほしいから、守っていきたいですよね。

矢板の宝、高原山で活動されている団体の方々にお話を伺いました。
皆さんに共通しているのは「高原山が好き」ということ。
そして来ていただいた方々にも好きになって欲しい、という想いでした。

「多くの人に山に来てほしい」
矢板岳友会　小林　充さん

矢板岳友会の皆さんが登山道を整備しています。案内標記もあたたかい手作りです。

もう50年も通っている高原山。この山は、季節ごとに実に変化に富んだ景色を見せてくれますね。特に、剣ケ峰から大入道にかけて春のシロヤシオとトウゴクミツバツツジは最高です。そんな高原山を皆さんにも楽しんでもらいたいと思ったのが、登山道整備活動のきっかけでした。登山客が迷わないように目印をつけたり、はしごをかけたり、笹狩りをしたりと、楽な仕事ではありませんが、これからも多くの皆さんが気持よく山を楽しめるように、努力していきたいですね。そして、多くの方にこの山を好きになって欲しいです。秋の高原山も、おすすめですよ！

「山の可能性を広げる」
新風たかはら　谷野　正明さん

ツツジが元気に育ち、毎年きれいな花を咲かせてもらうための下草刈りを進めています。

八方ケ原といえば、大間々や小間々のレンゲツツジが有名ですが、山の駅たかはらから八方牧場、八方湖周辺にも多くのツツジがあります。しかし、そのツツジ達が、大きくなった木に成長を抑制されてしまい、枯れてしまっているのが現状でした。そこで、下草や枝を切ったりして再びツツジに日の光をあててみると見事に復活してきました。あの地域には、ツツジのほかにも、見事な広葉樹の紅葉などまだまだ多くの人を呼べる可能性があります。これからは、その仕掛けづくりについても考えていきたいですね。

「素晴らしい自然への恩返し」
レンゲグループ　畠山　正子さん

お手洗いの清掃やお花を飾るなど、細やかな「おもてなし」を形にしています。

やはり、観光地などに行った時に、気になるポイントのひとつがお手洗いではないでしょうか。女性の方々は特にそうだと思います。ツツジの時期になると、駐車場に車が止められないくらい、多くの方々が訪れます。そんな時に、少しでも気分が和めばと思って始めたのが、トイレをきれいにし、お花を飾り、市内をPRするカードを置くことでした。今では市内の公園のトイレにもこの活動が広がり、好評をいただいています。秋の紅葉シーズンに向けて、これからも女性ならではの視点を活かし、来ていただいた方々へのおもてなしの心を表わしていきたいです。この素晴らしい大自然が元気をくれますから…。